

2025. 4. 12.

「帰国小学生英語保持講座」 言語学博士 服部 孝彦 教授 特別授業 2025. 5. 24.
親子で取り組む－子どもの英語力を効果的に伸ばすために

大妻中野中学校・高等学校では、今年で20年目を迎える「帰国小学生英語保持講座」を毎週土曜日に、無料で実施しています。この講座は、本校のアメリカ人専任教諭が、帰国小学生の英語力の保持・伸長のために本校の帰国生英語教育の取り組みの知見を生かして行っているものです。楽しいアクティビティとアカデミックなトピックのリーディングやディスカッション、英語プレゼンテーションを行っています。

5月24日(土)(11:50-12:40 本校英語室) に、JOES の英語保持教室でもおなじみの言語学博士・大妻女子大学名誉教授、東京大学大学院講師、本校教育顧問の服部孝彦先生 による特別授業を行います。

この講座受講生とその保護者が対象ですが、受講生でなくても参加できます。参加希望の方は、本校グローバルセンターに保護者・お子さんのお名前、現在の在籍小学校、学年、メールアドレスを記し、お申込み下さい。この授業は対面授業ですが、オンライン(ZOOM)参加も可能です。

申込先:global@otsumanakano.ac.jp

締切:5月17日(早めの申込をどうぞ)

語彙力アップによる英語力アップ

帰国生の第二言語喪失で最も顕著なのは語彙の忘却です。帰国生は、語彙力の喪失を防ぎ、確かな英語力を身につけるために逆に語彙力を増やす必要があります。今回は、語彙力を向上させるための同義語と反意語を一緒に学ぶ方法を服部孝彦博士が紹介します。語彙の習得については、応用言語学の中の第二言語習得論とよばれる分野において、これまで様々な研究が行われてきました。英単語は1つ1つ覚えるよりも、同義語と反意語をセットにして関連させたほうが記憶に定着しやすいことが、科学的に証明されています。英語の同義語と反意語を学ぶことから語彙の構築をするのは効果的な学習方法です。例えば、happy の同義語や反意語を体系的に学習することで、学習者は単語の意味範囲をより深く理解し、語彙知識が実践的に活用できるようになります。また、この方法は、学習負担の軽減と学習効率の向上にも寄与すると考えられています。

第二言語習得と喪失研究の第一人者である服部孝彦博士の指導で、帰国生は自然な形で、楽しみながら語彙力向上を目指した学習をします。親子で参加することにより、家庭内での学習環境も整えられ、子どもたちが持続的に英語力を身に着けることができる仕組みを構築することが期待されます。この手法は、従来の英単語暗記に比べ、より深い理解と長期記憶の形成を促すため、英語教育における効果的な学習法として注目されています。

【講師紹介】 服部孝彦(はっとり・たかひこ)先生

大妻中野中学校・高等学校 教育顧問、大妻女子大学名誉教授、東京大学大学院講師。

初等・中等・高等教育を日米両国で受けた元帰国子女。言語学博士(Ph.D.)。早稲田大学講師、米国ケンタッキー州立ムレー大学(MSU)大学院客員教授、大妻女子大学大学院教授等を経て現職。公益財団法人海外子女教育振興財団外国語保持教室アドバイザー、国連英検統括監修官兼外国人面接官指導研修スーパーバイザー、JSAF-IELTS アカデミック・スーパーバイザー、元 NHK 英語教育番組講師。文部科学省 SGH や WWL 等の、国のグローバル化のためのリーディング・プロジェクトの中心メンバーとして活躍している。著書に文部科学省検定中学および高校英語教科書他、著書 214 冊、学術誌発表論文 163 編、学会発表論文 221 編、教育誌執筆記事 505 編。今までの日本及び海外での英語教育、グローバル教育、帰国子女教育関係の講演回数は合計 1,320 回を超える。日本に本拠地を置く現在でも、海外での講義・講演、国際学会での研究発表を精力的にこなす。



2021年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 4年 まりこ さん

両親から大妻中野のホームページに帰国小学生英語講座があることを聞き、当時、小学6年生の私は、すぐに始めたい、と自分から申し出ました。アメリカから帰国後、公立の小学校にいた私は英語を話す機会が無く、英語に飢えていたのだと思います。緊張しながらクラスに入ると、先生がとても優しく、フランクに話しかけてくださり、すぐにクラスに馴染むことができました。このクラスでは皆が意見を持ち、お互いを認め合う環境が整っていたのでとても居心地の良い場所に感じました。この講座を受けたことで帰国後の英語能力維持に、とても効果があったと感じています。クラスの友人達とそしてユニークな先生と、授業だけでなくバスケットボールやゲームをしたり、またハロウィンやバレンタインなどの行事も楽しんだりと心に残る思い出はたくさんあります。



2022年度本校卒業 国際基督教大学 ICU 教養学部 3年 かれん さん

私は小学校5年生の2学期に日本へ帰国し、「帰国小学生英語講座」の存在を知りました。この講座は毎週土曜日に開催され、実際に大妻中野で英語の授業を担当されているネイティブの先生が授業を行って下さいました。毎週通うことで、学校や生徒さんの雰囲気を知ることが出来、いつも学校の生徒さんが小学生の私にも笑顔で挨拶してくれたことが印象的でした。入学する前から学校の雰囲気を間近で知れるというのは、この講座を受講する一番の魅力だと思います。私がこの講座で一番印象に残った授業は、グループで行ったプレゼンテーションです。初対面の子とグループになり、図書室で本を借りてリサーチを行い、フィルムの仕組みについて発表しました。初対面の人と共に協力し、発表することで、主体性や協調性、発信力など、新たなスキルを磨くことが出来たと思います。

2022年度本校卒業 東北大学 農学部 3年 あい さん

私は3才から6才までオーストラリアで過ごし、大妻中野にはグローバル入試で入学しました。英語を忘れないようにと、両親の勧めで、小学4年生からこの帰国小学生英語講座に通い始めました。帰国してすぐのハイレベルな友達に気後れすることもありましたが、ネイティブの先生や周りの友達がフレンドリーに接してくれたので、だんだんと積極的に英語を話せるようになりました。また、英語を使ったさまざまなアクティビティーは英語に親しむ良い機会でした。特に、みんなでドッチボールをしたことやパーティーをしたことをよく覚えています。楽しみながら英語を使うことで、より自然な英語が身につくようになったと思います。

2023年度本校卒業 上智大学 理工学部 2年 わかな さん

小学6年生の春に海外から帰国した私は、担当してくださっているネイティブの先生がとてもフレンドリーで、毎週楽しく通っていました。当時、ネイティブの先生から教えていただけるのがとても新鮮で、海外のインターナショナルスクールで学んでいるような感覚でした。この講座では主に、自分のレベルにあった海外の教科書を使用して、それぞれのグループに分かれて、ディスカッション。いろいろな人の意見が聞けて良い刺激になったのを覚えています。みんなが帰国子女なので、気軽に話せまし、本当にインターナショナルスクールで勉強しているようでした。アクティブにプレゼンテーションをする機会やパーティーなどもあって、とても楽しく通っていました。

2024年度本校卒業 早稲田大学 国際教養学部 1年 ゆり さん

私は海外に住んだ経験はありませんが、インターナショナルプリスクールに通うなど幼少期から英語で話せる環境を大切にしてきました。英語力を伸ばすことができる中学を探していた際、母が大妻中野中学校の「帰国小学生英語講座」を提案してくれました。帰国子女ではない私が参加できるか不安でしたが、小学5年生から通うことができました。授業では、自分のレベルに合ったテキストブックを使用し、グループでディスカッションしながら問題を解いていきました。また、初めての英語でのプレゼンテーションも経験し、自信を持って英語で話す新たな機会となりました。特に、自分の意見を英語で表現する力や、相手の意見を理解する力が大きく向上したと感じています。